平成２８年８月１８日

英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
第二回会合の開催について

１．　趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の対応について検討するために，８月１８日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第二回会合を開催。

２．　タスクフォースの構成員

議　長	萩生田　光一	内閣官房副長官
副議長代理	新川　浩嗣	内閣官房内閣審議官
	松永　明	内閣官房内閣審議官
構成員	新原　浩朗	内閣府　政策統括官
	森田　宗男	金融庁　総括審議官
	谷脇　康彦	総務省　情報通信国際戦略局長
	林　肇	外務省　欧州局長
	山野内　勘二	同　経済局長
	梶川　幹夫	財務省　関税局長
	神田　裕二	厚生労働省　医政局長
	横山　紳	農林水産省　国際部長
	嶋田　隆	経済産業省　通商政策局長
	掛江　浩一郎	国土交通省　大臣官房審議官

３．　第二回タスクフォースの概要

（１）　冒頭，萩生田内閣官房副長官から，英国のＥＵ離脱プロセスの見通しを踏まえ，日本企業は先行きの不確実性や従来のビジネス環境維持に不安を感じていると思われることから，英国とＥＵが市場の一体性をできる限り保つよう求め，日本企業の不安が払しょくされるよう努める必要があると述べた。萩生田副長官は，こうした観点から，我が国として英国及びＥＵに対し日本企業の具体的な関心・要望を示すとともに，欧州が自由貿易の旗振り役を担い続けるよう促すべきであり，この関連で日ＥＵ・ＥＰＡ交渉の年内大筋合意実現は力強いメッセージであると述べた。さらに，萩生田副長官から，国際社会の平和・安定・繁栄のため，ＥＵ及び英国と引き続き緊密に協力・連携する重要性につき言及した上で，今回の会合では英国及びＥＵへのメッセージ案をとりまとめる作業を行いたい旨述べた。

（２）　続いて，本回の会合から新たに参加した内閣府，総務省，厚生労働省及び国土交通省から，英国の国民投票後の現状や各府省における取組等について報告の後，外務省及び経済産業省から，前回会合のフォローアップ事項である日本企業の進出経緯や中小企業への影響等について報告があった。さらに，外務省から，英国のＥＵ離脱に係る政治的な動向と今後の見通しについて報告があった後，英国及びＥＵへのメッセージ案について参加者間で議論が行われた。